

## 編集後記

SBI 大学院大学  
紀要編集委員会 太齋 利幸

この度、SBI 大学院大学「紀要」第 13 号（2025 年度版）を刊行することができました。本紀要是 2013 年度の創刊以来、今年度で 13 回目となりました。投稿された皆様ありがとうございました。今回も、紙媒体と電子媒体での刊行といたします。

本学の紀要では、2016 年から統一テーマを設けており、「フィンテック」「アントレプレナーシップ」「IoT」「リーダーシップと人間学」「イノベーション～ポストコロナに向けて～」「サステナビリティ～DX 時代の経営～」「グローバル時代のダイバーシティ経営」「不確実性下の経営」「アントレプレナーシップ～軌跡・課題・展望～」という本学らしさを打ち出した特集を組んできました。もちろん、特集テーマ以外の論文も掲載しております。そして、今年度のテーマを「AI 時代の経営」としました。昨今の AI 進展のスピードにはすさまじいものがあり、本校でも事業計画演習においては生成 AI を使ってもよいようになりました。また、来年度からは AI に関する新しい授業も開始されます。

さて、ロシア、ウクライナ戦争の終結はなりそうでならず、相変わらず世の中は混沌としておりますが、日本においても同様で、低レベルの政治家と官僚、信用できないマスコミ、日本国民の貧困化（税金や社会保険料などによる国民負担率の高さ）、少子高齢化、外国人問題、関税問題、エネルギー問題、クマ被害など問題は山積しています。ただし、救いなのは石破政権から高市政権に代わり、ガソリンの暫定税率廃止や補助金などの見直し、積極財政への転換などいくつか明るい材料が見えてきたところは今後に幾分期待できる点かと思われます。さらには、AI 技術の進展により日本が上昇傾向に転換することを願ってやみません。その点で今回の紀要も楽しみになります。

これまで同様、今回の紀要も、特集テーマ論文、一般論文、修了生論文の 3 部構成になっています。また、専任教員以外に、非常勤教員、研究員、修了生から総勢 16 名と昨年より 5 名も多くの方からの投稿をいただきました。本当にありがとうございました。

最後になりますが、論文校正、印刷・製本などをご担当いただいた多くのスタッフの皆さんに感謝申し上げます。次年度以降もよろしくお願ひいたします。